



# みんなのけんこうガイド

※各保健センターへのお問い合わせは午前8時30分からです。

★本庄市保健センター ☎2003  
児玉保健センター ☎5540  
※児玉保健センターは不在の場合もあります。  
事前に電話でお問い合わせください。

## ●乳幼児健康診査・健康相談

【受付時間】 ☆印…午前9時30分～10時、★印…午後1時～1時30分

※対象者には通知します。

内容	対象となる人（お住まいの地域）	日程	会場
★3～4か月児健康診査	平成22年5月生まれ（本庄地域）	9月29日(水)	本庄市保健センター
	平成22年4月～5月生まれ（児玉地域）	9月16日(水)	児玉保健センター
☆9～10か月児健康相談	平成21年11月生まれ（市内全域）	9月29日(水)	本庄市保健センター
★1歳6か月児健康診査	平成21年2月生まれ（本庄地域）	9月27日(月)	本庄市保健センター
	平成21年1月～2月生まれ（児玉地域）	9月15日(水)	児玉保健センター
☆2歳児健康相談	平成20年8月生まれ（市内全域）	9月28日(火)	本庄市保健センター
★3歳児健康診査	平成19年8月生まれ（本庄地域）	9月28日(火)	本庄市保健センター
	平成19年7月～8月生まれ（児玉地域）	9月14日(火)	児玉保健センター

## ●育児相談・学級

【会場】 児玉保健センター

※電話による育児相談は随時受け付けています。各相談・教室の予約は、本庄市保健センター(☎2003)へ。

内容	対象となる人	日時	その他	
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	相談・計測希望の人	9月16日(水) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
母乳相談	母乳のことで相談がある人	10月29日(金) 午前9時30分～11時	定員あり。事前に電話予約してください。	
カンガルー広場 (情報交換・友達づくりの場)	0～2歳児とその保護者	9月18日(月) 午前9時30分～正午	おやつを持ち込みはできません。	
おや親タマゴ	マタニティ エクササイズ	これからママになる人 会場:本庄市保健センター	9月8日(水) 午前10時～正午	先着20人。事前に電話予約してください。
	母乳・沐浴	これからママ・パパになる人	9月4日(土) 午前9時30分～正午	先着20組。事前に電話予約してください。

## ◆コアクラスのお知らせ

【会場】 児玉保健センター

※各回先着15組、1回ごとの参加もできます。予約は、9月27日(月)から電話で本庄市保健センター(☎2003)へ。

内容	対象となる人	日時	用意
親子ふれあい体操	1～1歳4か月児とその保護者	10月6日(水) 午前10時～正午	運動のできる服装、飲み物、タオル
心やことばの育ちについて		10月13日(水) 午前10時～正午	
からだの発達について		10月21日(水) 午前10時～正午	
こどもの成長に欠かせない食事とは (調理実習あり)		10月28日(水) 午前10時～正午	エプロン、三角巾、おんぶひも

申込センターへ  
10月8日(金)までに本庄市保健センターへ

定員 15人(多数の場合抽選)

対象 74歳以下の市内在住者

内容 保健師の講話と実技

会場 セルデイ

日時 10月14日(木) 午前10時～11時30分

ウォーキングは、自分の生活に合わせてできる運動です。みんなで楽しく健康になれるウォーキングをしてみませんか。

『手軽に健康ウォーキング!』  
上手にヘルスアップ

受付 午後1時～1時30分  
※受付時間を厳守してください。  
※他の予防接種との接種間隔にご注意ください。

対象 平成21年6月～平成22年5月生まれの人

日程 10月12日(火)～14日(木)

会場 児玉保健センター

日程 10月1日(金)、4日(月)～8日(金)

本庄市保健センター会場

対象児には「予防票」を郵送します。指定した会場へお越しください。対象年齢(生後90日未満)の期間内に2回投与していない人は、保健センターまでご連絡ください。

『ポリオ(小児マヒ) 予防接種』を実施します

ください。(お持ちでない人は保健センターまで)



# 医療メト

本庄市児玉郡医師会広報部

## こどもの視力（弱視）



近年3歳児健診等で早期に小児の視力を測定したり、眼疾患の有無を検査することが奨励されています。

乳幼児期は視機能の発達期にあり、早期に弱視を発見し、正常な視機能が獲得できるように適切な治療を始めなくてはなりません。小児、特に乳幼児は自分から病状を訴えませんし、検査にも協力的ではないため、周りのスタッフといっしょに手早く検査を行います。

### 1. 弱視

弱視とは眼そのものに異常はないが、視力を測ると眼鏡で矯正しても0・3以下の場合で、何らかの眼疾患により視力が低下した状態をロービジョンといい、両者は区別されています。ロービジョンが人生のあらゆる時期に発症するのに対し、弱視は出生直後から起こり、正常な眼をもって出生しても、『鮮明な像を両眼で同時に見る』という環境が与えられないと誰にでも起こりうるのです。この視機能の発達にはタイムリミットがあるため、早期に発見し、弱視治療を始めることが大切です。

### 2. 視力の発達

一般的に新生児（0か月）の視力は0・01くらいで、6か月で0・2、その後3歳までに0・6〜0・9、4歳くらいには1・0になります。視力の発達には、像が網膜（カメラに例えるとフィルムにあたる）にぴったりに合うことが必要で、6歳くらいまでに何らかの原因で鮮明な像が得られないと弱視になる恐れがあります。

### 3. 弱視の原因

#### ① 屈折異常弱視と不同視弱視

屈折異常弱視は、強い近視や遠視、また乱視により像が網膜に鮮明に映らないために視力の発達が障害され、不同視弱視は、左右の眼の遠視の程度が大きく異なるために、強い遠視眼の像がぼけて見えるためにおこる弱視です。適切な眼鏡装用や弱視治療により視力の回復が期待されます。

#### ② 形態覚遮断弱視

乳児期に片方のまぶたが下がった（先天性眼瞼下垂）、眼帯をすることにより生じる弱視で、先天性眼瞼下垂は早期に手術を行います。

#### ③ 斜視弱視

両眼の視線がずれている斜視（内斜視、外斜視など）によりおこる弱視で斜視の手術が必要です。

#### 4. 弱視の検査

大人と同じように視力、屈折検査や眼底検査など一連の眼科的検査をすべて行いますが、乳児期には自覚

的な視力検査ができませんので他覚的に検査を行い、幼児期になりますと、ランドルト環という黒い輪の切れ目の方向を答えさせて行います。3歳頃になりますと検査が可能となります。

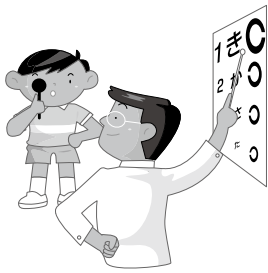
正確に屈折状態を調べるため、調節力（水晶体が行うピント合わせ）を一時的に麻痺させる点眼薬を使用し、視力検査も行います。

### 5. 眼鏡

弱視治療で大切なことは、視力検査や屈折検査を行った後、適切な眼鏡（治療用兼生活用）をかけ、継続して定期的に検査を行い、視力の回復を図ります。また眼鏡をかけるだけではなく、弱視眼の発達を促すため、良い眼に遮蔽（アイパッチ）を行うこともあります。

いずれの治療も家庭での管理が必要で、保護者の理解と協力が欠かせません。

平成18年4月1日から9歳未満の小児の弱視、斜視及び先天性白内障手術後の屈折矯正などの治療に必要な眼鏡に対して、療養費の一部支給が認められるようになりました。



## 胃ペプシノゲン検診・PSA（前立腺）検診のお知らせ

今年度から、胃がんのなりやすさを測定する胃ペプシノゲン検診及び前立腺がんや前立腺の病気の可能性を測定するPSA（前立腺）検診を実施しています。

検診を希望する人で受診券が手元がない人は、保健センターへご連絡ください。

### ① 胃ペプシノゲン検診

対象 40歳以上（昭和46年4月1日以前に生まれた人）の市内在住者  
費用 350円

### ② PSA（前立腺）検診

対象 40歳以上（昭和46年4月1日以前に生まれた人）で市内在住の男性  
費用 250円

### ①②共通

期間 平成23年3月31日（木）まで

場所 本庄市指定医療機関

検査方法 血液検査

用意 受診券、健康保険証

※生活保護世帯、市民税非課税世帯、70歳以上の人は無料になります。受診する前に必ず本庄市保健センターへお問い合わせください。

